

市民主体の行政を推進し、活力ある市政運営を

平成13年第1回市議会臨時会が2月14日に開催され、会期1日の日程で、上程議案の審議を行いました。
市長改選後、初の議会に臨んだ吉沢市長は就任に当たった決意を述べ、議会をはじめ市民に対し、理解と協力を求めました。

就任に当たって

白根市長 吉沢真澄

平成十三年第一回白根市議会臨時会の開催に当たり、市長就任のごあいさつを申し述べる機会を得ましたことは、大変光栄に存じます。
去る、一月二十一日の市長選挙におきまして、多数の市民の皆さまのご支援をいただき、当選の栄を与えていただきました。誠にありがたく、ここに改めて厚くお礼を申し上げます。次第であります。

情報公開の徹底と市民参加の推進を

二十一世紀の新しい時代を迎えた今、少子高齢化や高度情報化、国際化の進展と分権型社会に柔軟に対応できる行政運営と、魅力と活力のあるまちづくりが強く求められているわけですが、このような重要なときに市政を担当する職員の重責を、ここに改めて痛感いたしておるところであります。

私は、選挙を通じて、市民が主役の市民に開かれた政治、市民の声が届く政治を基本にし、「すべての人が大切にされ、市民と共にあるまちづくり」、そして、明るく住みよい

まちづくりを訴えて参りました。このため、情報公開の徹底と市民参加の推進、そして、市民との直接対話の機会を拡大し、常に市民の立場で考え、共に歩む姿勢で市民の皆さまの総意を反映した行政を進めて参る所存であります。

また、子育て支援や高齢者介護、身体の不自由な人に対する支援の充実をはじめ、教育環境の整備、水害対策等も含めた生活環境の整備、さらには一段と厳しい環境下にある農業や商工業の活性化、そして、国道をはじめとする道路交通網の整備など、重要な課題が山積しているところであり、これらの施策推進を計画的に行っていかなければならないものと考えております。

しかしながら、議員各位ご承知のとおり、白根市における現下の財政状況は極めて厳しい状況であります。

計画的かつ効率的な行政運営で、財政の健全化を

就任早々、新年度予算の編成に当たったところでありますが、税収の減少に加え、市民ニーズの多様化に伴う財政需要の拡大のほか、累積債務の償還や物件費の増加などにより、収支均衡を保つに大変困難な状況となっております。



臨時会議案

提案された五議案を審議。全議案が可決、承認されました。

可決された主な議案

●白根市立中学校条例の一部改正について

新飯田中学校と庄瀬中学校の学校名と位置を、白南中学校、白根市大字茨曾根七六一九番地とし、施行期日を開校予定日の平成十五年四月一日とする、条例の一部改正を行いました。

●財産の取得について

白南中学校建設用地の国有地を、国からの払い下げにより取得します。取得する面積は九一六・〇一平方メートル、取得価格は四百六十九万円で、国有財産特別措置法に基づく減額措置がされています。

このような中にありましても、白南中学校の建設をはじめ、下水道事業等の大型プロジェクトも進めていかなければならないわけであり、これら今後の財政需要に、的確に対応していくためには、まずもって、事務事業の総点検と組織・機構の見直しによる経費の節減、計画的かつ効率的な行政運営に徹して、財政の健全化を進めることが今、最も喫緊かつ重大な課題であると認識いたしております。新年度予算の編成に当たりましても、市民サービスの低下を来すことのないよう配慮の上、思い切った歳出の削減を図らなければならぬものと考えております。

私は選挙を通じ、施策の推進に当たっては、市民主体、市民参加の市政運営を図ることを訴えて参りました。この基本姿勢に立って、市民福祉の向上と、時代の要請にこたえられることのできる活力ある市政運営と市民の皆さまに信頼される市政構築のため、全力で取り組む覚悟です。議員各位におかれましても、現下の状況を十分ご理解の上、それぞれ立場は異なりますが、共に市政を担うものとして、共通の認識をお持ちいただき、ご指導と格段のお力添え、ご尽力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

これらにつきましては、今後機会をとらえ、議員の皆さまにご説明申し上げます。ご理解を賜りたいと存じております。また、市民各位に広くその現状をお知らせして参りたいと考えているところであります。

退任に 当たって



前白根市長 竹内 正

平成5年から2期8年間、市政の重責を担わせていただき、ここに無事に任を終えることができました。

市民の皆さまからは市の事業について、ご支援ご協力をいただいたことを、厚くお礼申し上げます。在任中、白根市発展のため、さまざまな事業に携わることができたことは、私自身にとりましても大変有意義な8年間でありました。

この間、白井小学校、庄瀬小学校、そして白南中学校の建設など、教育環境の整備充実のほか、はじめ保育園、いぶき保育園、あかね保育園などの私立保育園の誘致を進め、行政の効率的運営に努めてきました。また、昨年には市民待望の白根学習館がしゅん工し、徐々に都市としての機能が整いつつあります。

一方、社会経済においては、20世紀から21世紀への時代の大きな波の中で、市政運営も非常に厳しい選択を迫られました。バブル経済の崩壊、食糧・農業・農村基本法の施行、介護保険制度の導入、そして地方分権一括法の施行など、時代の変革期に当たり、地方もその役割を見直すべき局面を迎えています。

そうした中で、平成9年には白根市の人口も4万人を超え、また近年の合併促進の流れの中では新潟都市圏として極めて重要な役割を果たすなど、本市の持つ可能性は非常に大きいものがあります。また昨年、学習館で開催された市民ミュージカルで、出演者の皆さまが与えてくれた感動は、市民の潜在能力の大きさを示しているのではないかと思います。

今後、新しい市長には市民の持つ潜在能力を目いっぱい引き出していただき、4万市民の幸せのためご活躍くださいますよう、心からご期待申し上げます。市民の皆さまのご健康とご多幸を衷心よりご祈念申し上げます、お礼のごあいさついたします。